



原点回帰“これまで…、これから…” ②

～「小中一貫型教育」で効果が見える取組～

前号からスタートした【原点回帰“これまで…、これから…”。第2回目のテーマは、『～「小中一貫型教育」で効果が見える取組～』です。7年目を迎えた今、これまでの取組を振り返ると共に、教育効果を上げるための工夫・手立てを、小学校と中学校が一体となって考え、実行に移そうとしています。今一度、「小中一貫型教育」による教育的効果をひとつひとつ確認してみます。

(1) 中一ギャップの緩和のために効果が見える取組

- ① 中学1年生にとっても、小学校で馴染んだ先生が側にいてくれることで安心感があります。
 - ・小学校の先生7～8人が中学校に常時在籍
- ② 小中の先生が連携して児童・生徒理解に応じることができます。
 - ・入学後の継続した見守り



6年生歓迎式

(2) 学習において効果が見える取組

- ① 中学生の学びを見て、自主的な学習習慣が確立できます。
 - ・毎日の家庭学習の習慣化を中学生に準じて確立（自学ノートの活用等）
 - ・中学校で行っている「自学コンテスト」は、6年生にも大きな手本となっており、中学生の自学ノートの掲示物を参考に、6年生も独自の「自学コンテスト」を行い、主体的な学びにつなげています。



6年生校舎での授業

(3) リーダー性の育成において効果が見える取組

- ① 中学生と共に学校行事を行っていく中で、生徒会活動及び中学生の輝く姿から、リーダーとしての姿勢を学んでいます。
 - ・文化発表会を主体的に作り上げる姿
 - ・体育大会における応援活動、生徒会活動等におけるリーダーシップ
 - ・各専門部における主体的な活動の姿



6年生を交えたレクリエーション

(4) その他、学校教育全般において効果が見える取組

- ① 部活動が体験できます。
 - ・6年生の間にいろいろな部活動を体験

⇒ 但し、現存の小学校社会体育活動に支障がない範囲で参加してもらいます。



部活動見学（先輩に学ぶ）

- ・年間5回程度の体験ですが、他の学校では味わうことのできない活動です。中学校生活に向けて夢も高まります。
- ② 小中の職員が連携会議を行い、一貫型教育のあり方を考えることで、系統的な指導に生かしています。

特色ある取組

生徒会活動

基本的に、中学校生徒会に準じて活動を行い、学校行事の運営や様々な自治的活動等、魅力ある学校づくりに参画します。

<中学校の専門委員会>

- (1) 学習 (2) 生活 (3) 図書文化 (4) 放送
(5) 美化 (6) 厚生 (7) 保健体育

クラブ活動 (小学校)

小学校で4年生から実施しているクラブ活動は、小学校課程内の授業という位置づけのため、6年生も小学校校舎に戻って参加します。活動時間は1単位時間(45分間)で、年間10回程度です。

部活動への参加 (中学校)

中学校の部活動に対する興味・関心を高めたり、活動の活性化を図ったりするため、6年生に対して、現存の小学校社会体育活動に支障がない範囲で、中学校の実情に応じて可能な部活動のみ、希望者に体験活動を実施します。

今回は、現在、小中一貫型教育で効果が見える取組を振り返ってみました。私たち教員も、子どもたちの一生懸命な姿に、元気ももらっています。コロナ禍の影響等により、十分な取組ができていない面を振り返り、子どもたちの成長と笑顔のために、工夫・改善してまいります。

今後とも、保護者・地域の皆様方と、互いに支え合いながら、より良い学校づくりに努めてまいりますと考えています。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。



文化発表会での合唱



かしこくん やさしちゃん たくましくん

校訓キャラクター「広ちゃんズ」は、校訓「賢く 優しく 逞しく」に恥じない、立派な生き方をしようという生徒たちの強い想いとそれを形にしたいという職員の想いで誕生したキャラクターです。

H26年度(2014) デザイン決定

H27年度(2015) 美術部員による正式デザイン完成
着ぐるみ三体完成

☆ 広田中学校のホームページに、小中連携だより(カラー版)を掲載しております。